



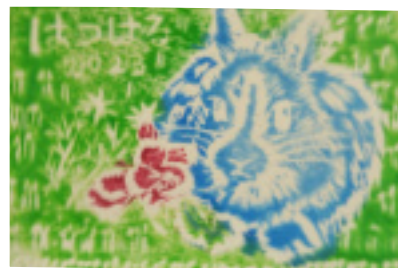
油彩画「波」
(横山尚登さん=福庭：鳥取県展入選作品)
「今回は、波そのものを描きたいと思い、周辺の風景は極力排除しました。地球の鼓動を感じながら描くことが出来ました」

「板画で年賀状つくろう！」教室からの年賀状

年賀状を作って



- 【子どもの声】
▽「板を彫るのが大変だったけど、色をつけたら良いが出来た」
- ▽「友達に送るのが楽しみです」
- 【保護者の声】
▽「子どもと一緒に挑戦して楽しかった」
- ▽「色つけが思うようになかなかならず、苦戦しました」



2023 新春

飛躍 和

願いは、“混迷”の終焉(しゅうえん)・平和な世界

あけまして
おめでとうございます

“光陰矢の如し”と申しますが、本当に時の流れが早く感じられます。皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

相変わらずのコロナ禍ではありますが、地域の皆様が集い合う憩いの場としてコミュニティセンターを最大限活用して頂こうと、日夜思いを巡らしている次第です。

昨年は、高齢の方を対象とした認知症予防講座やスマホ教室、小学生を中心としたナイトハイクや防災キャンプなどを開催し多数の参加者で賑わいました。

裏面で紹介しています様々の教室や同好会も明るく和やかに活動されています。より活性化のために、新たな生徒さんの参加を心より願っています。

40名にも及ぶ「給食ボランティア」の皆様の献身的な活動には、本当に”感謝”です。月2回、90食の「お弁当」作りに止まらず、様々な行事にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

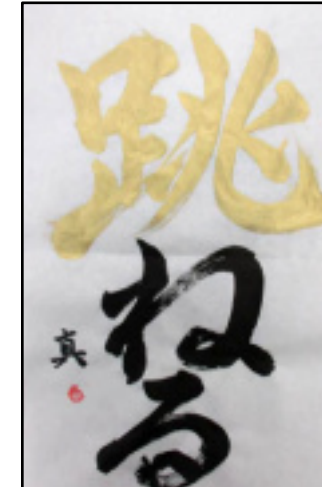
上井地区の皆様、センターへの応援よろしくお願ひ致します。

一致団結して、明るく楽しい1年に致しましょう！！

上井コミュニティセンター
館長 田中佑和

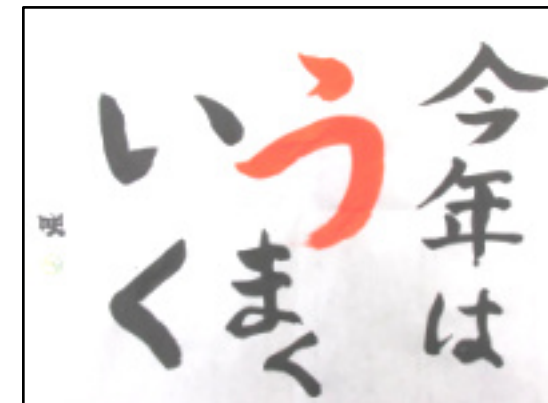
今年が“飛躍”の年、平和の訪れる世界でありますように。願いを込めて、新春の作品と取材記事を届けます。(編集委員会)

「子ども硬筆・毛筆教室」
新春の力作



講師 山田美鈴先生(県展書道部門無鑑査書家)のコメント

「2023年うさぎ年。うさぎが元気に跳びはねるように、今年もがんばる！という気持ちで書きました。明るく力強い作品が出来ました」



あ
げ
い

コミュニティーセンターだより

NO213

(06年10月からの通算)

編集：「上井コミュニティセンター」
編集委員会

令和5年1月1日発行

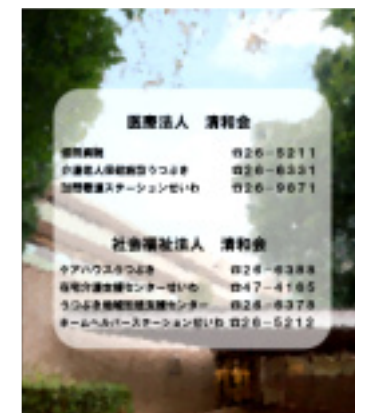
〒682-0042

倉吉市大平町360-1
TEL26-1736 FAX26-3621

(メール) koagei@ncn-k.net

(HP) http://www.ncn-k.net/koagei/

上井コミュニ
ティセンター
のQRコード



お知らせ



“ヨーイ、ドン！”(前回の大会)

上井地区
マラソン・駅伝大会
2月25日(土)

上井の
元気な人

足立 紳 さん
(脚本家・映画監督=海田西町出身)



wikipediaより転載

秋から始まるNHK朝ドラ「ブギウギ」の脚本担当は、足立紳(しん)さん。物語の主人公は、戦後、“ブギの女王”と言われた笠置シズ子モデル。紳さんのご両親にエピソード等聞きました。(三木・杉本)

問 どんな子どもでしたか？
答「良く言えば天真爛漫。ヤンチャでガキ大将。高校時代、停学もありました」
問 脚本家の道に進まれましたが、祖母の影響で、幼い頃からよく映画を観ていました。
答「物心つく頃から絵本を読み聞かせてました。中学1年位まで、『読んで！』とせがまれたことを思い出します…」

ピアノとバイオリンには通ってました。高校ではソフトボールやりました」
問 脚本家の道に進まれましたが、思い当たることは？
答「物心つく頃から絵本を読み聞かせてました。中学1年位まで、『読んで！』とせがまれたことを思い出します…」

倉吉の自然の中で、自由奔放に育って…

問 今、すごい活躍ですね。
答「近県である講演には、夫婦で聴きに行ってます。彼の書くものの中には、親の私たちの事があからさになり恥ずかしい時もありますが、まあ、彼の“メシのタネ”になっていると思えばうれしいですよ」
【取材を終えて】倉吉の自

然の中で自由奔放に育ち、その記憶が財産となり今の活躍につながっている。紛れもなく両親の愛情が注がれていたこと気づかされたひと時でした。
※「喜劇愛妻物語」は「2019東京国際映画祭」で最優秀脚本賞。小説の「弱虫日記」には、河北小や天神川がと〜じょう！

1月の行事予定

6日(金)	河北中学校 始業式	
10日(火)	河北小学校 始業式	
	上井地区自治公民館協議会 館長会	16:00
13日(金)	上井地区民生児童委員協議会	9:30
18日(水)	出張スマホ教室(インターネットを使ってみよう)	10:30
24日(火)	副館長・総務部会	19:00
	社会教養部会	19:00
26日(木)	体育部会	19:00
	生活環境部会	19:00
2月5日(日)	上井地区自治公民館協議会 総会	10:00

今月の「ふれあい給食」サービス 12・19日

【教室・講座】

3B体操	(月曜)	16・23・30日	10:15
	(月曜)	16・23・30日	18:30
書道教室	(水曜)	11・18日	10:00
	(水曜)	11・18日	13:30
水墨画教室	(水曜)	11・25日	13:30
板画教室	(日曜)	15日	10:00
リラックスヨガ	(金曜)	6・20日	10:00

【同好会】

コーラスあげい	(火曜)	17日	9:30
太極拳同好会	(月曜)	16・23・30日	20:00
	(金曜)	6・13・20・27日	10:00

【その他】

なごもう会		17日	13:00
-------	--	-----	-------

鳥取県から。公式LINE

鳥取県公式「脳とからだの健康LINE」友だち登録してね!

あなたの認知症リスクをチェックできる!
認知症予防に関する情報を定期的に配信
相談窓口の紹介
県からのお知らせなど

このQRコードをスマホで読み取れば、すぐに友だちになれるよ!

@833clxbt



「12月のKプラザには家族と過ごすクリスマスと正月用品でいっぱいです」(杉)

師走の話題 NEWS

研究指定事業「クリスマスのピザ作り」
焼き上げたピザを「お持ち帰りしました」



生地づくり中

12月16日、笹長清子さんによる「キッズのXmasピザ作り」があり多くの小学生が参加しました。

家でも簡単に作れるレシピで、生地づくりから野菜のカット・トッピングまで各々が仕上げ、オーブントースターで焼き上げて持ち帰りました。

参加した子どもたちは、「生地を作る時、粘土みたい」「延ばすのに力が要って難しかった」。「自分の家で、お母さんと一緒に作ったことがある」「簡単に作れた」などと言いながら楽しそうに作っていました。(三)

「心の元気講演家」石川さんのトークに大笑いの連続

高齢者の集い「泣いて笑って心の健康」



例えば…♪あれ〜どがに いすっだいな!♪など、方言いっぱいのセリフ入りの歌を唄う“笑歌村塾”こと石川達之さん(湯梨浜町出身)。

ユニークな歌とトークの講演会(12月2日:上井コミセン)に参加しました。

消防士生活で体験したこと、両親のことなど歌を交え話されました。テーマ通り、涙と笑いの連続でした。「いっぱい笑いを味わい、素敵な時間を過ごしました」と多くの参加者の声。私も、あらためて自分の両親に感謝の言葉を伝えたいと思った講演会でした。(楠)

あげい・12月の点描

森保ジャパンの劇的勝利やPK戦になった決勝戦…。そんな、サッカーW杯の余韻が残る中、17日には寒気団が南下。本格的な冬到来になりました。上井の、何気ない街角風景を切り取ってみました。



初雪。3~5センチほどの積雪。(12月17日正午頃・河北地区内)



倉吉駅南口昇降口の門松

「ふれあいソバづくり」

収穫の一部は、地域グループの交流に“プレゼント”



▲和やかに会食。

「なんべん打っても、下手だわ!」「こがにいするだあでえ」と手助けする人と、和やかなソバ打ち。

給食ボランティアの方が準備されていた、おにぎり・天ぷらなどの数々のご馳走が配膳され、和やかな「収穫祭」(12/6と11日)になりました。(戸)

3ヶ月間の活動報告 「河北小学校見守りボランティア」の総会 12月16日(金)



活動の風景

「見守りボランティア」は、13名で9月に発足。現在は22名(目標は50名)で、現在も募集中です。3ヶ月の活動を、メンバーの方が一人ずつ報告。

・子供達から「こんにちは」「さようなら」と返事が返って来るようになり、元気をもらっている。
・子供から「お礼の手紙」をもらった。
・信号待ちの時は、点字ブロックの手前で待つように指導しました。
・押しボタンの歩道は車がすぐには停まらない。要注意です。

河北小学校の校長・教頭先生も出席しておられ、「大きな事故・不審者の出没などもなく、安心している」と感謝しておられました。(佐)

お知らせ



「お年寄り・男の料理教室」
2月16日(木)

nonTVの取材がありました。(令和2年2月19日)

編集後記

日本が独・スペイン待ち]ツアーの時、添乗員さんにガイドされたのです。(戸)▽今年度、あの、「ドーハの悲劇」のスタジアムを頑張ります。作品やグラウンドに横たわった話題等をお寄せ下さい。を思い出しました。(楠本・杉本・佐々木・三木・戸田)

上井地区住民福祉大会

「認知症の正しい理解と予防」講演会に60名が参加(地区社福協・上井コミセン共催)

【11月29日(火)=上井コミセン】

第1部:認知症予防第一人者の浦上克哉教授(鳥大医学部)の講演
第2部:倉吉市認知症地域支援推進員=大久保美智子さん「ご近所の見守り支え合いで、これからの町づくりを」

認知症を進行させる要因は、①コロナ禍等で外出を控えて、筋肉量が減る。②聴力が低下③睡眠不足など。そして、早期発見には、「ご近所」での声かけが有効。「マグノリア」と連携することが大事と話されました。

参加者は、「認知症サポーター養成講座」の研修を受講したことになり、サポーター認定カードが渡されました。

参加者の声「浦上先生にもお会いしたかったのと、認知症他人事とは思えないので来ました。とても参考になりました」

「サポーターが増えると安心して暮らせますね」



TVでもお馴染みの浦上先生が講演